



ニュース しんまち

No.261

発行
青森市新町商店街振興組合
広報委員会
住所：青森市新町二丁目6番27号
電話(017)代775-4134
FAX (017)775-4193
E-mail sinmatil@jomon.ne.jp
URL <http://www.jomon.ne.jp/~sinmatil/>



『新町じゃんけんサンタ』開催

新町商店街振興組合青年部 北澤 卓(成田本店)

12月21日(金)恒例となったじゃんけんサンタが開催されました。今年は商店街青年部のほかにも、よさこいチーム新風!のメンバー、また、ハロウィンに参加していただいた方々や、かわいい縄文ゆるキャラの「さんまる君」も参加することになり、例年にないにぎやかな雰囲気でのじゃんけんサンタと

なりました。参加される方のサンタも思い思いの衣装をまといクリスマスらしい艶やかな装いで歩くことができました。

記念撮影をしたあと、午後3時じゃんけんサンタのスタートです。サンタに扮した人たちは、「メリークリスマス!」と元気に通行しているお客様や、自動車などに呼びかけ、各々プレゼントの入った袋を持って、お客様にじゃんけんをお願いしていました。袋に入っているプレゼントは、お正月に鏡餅に飾るみかんの代わりとしても使える「ヒメリンゴ」、またはお菓子をご用意しました。サンタに話しかけられたお客様たちは、お子さんからご年配の方々と幅広い年齢層でありながら、みなさん快く応じていただき、本当にありがとうございました。

恒例の行事となっていますが、このじゃんけんサンタを行っていると、今年も無事終わることができてよかったと感じることができます。来年も楽しい新町の行事が満載ですが無事に成功していけたらよいなと思います。

学生と交流、10都市に拠点

街づくり 大学と人材育成

全国の街づくり会社が加盟する一般社団法人エリア・イノベーション・アライアンス(AIA、東京・品川)は大学と連携し、街づくりをリードできる人材を育成する。各地の街づくりの事例を集めたメールマガジンを発行し教材とするほか、学生と商業関連事業者の交流拠点を全国約10都市に設置。意見交換などをしながら現場の経験、ノウハウを学んでもらう。

AIAは札幌や高松、熊本など全国11都市の街づくり会社などが加盟して昨年2月に活動を始めた。地方で中心市街地の活性化が課題となる中、現場や実態に即した街づくりの専門知識を持った人材の輩出を目指す。



今夏創刊したメルマガ「エリア・イノベーション・レビュー」はAIAのメンバーが関係した全国の街づくりの取り組みを詳細に紹介。実際に現場で活躍する担当者の生の声を掲載する。資金調達など組織の運営方法も実践的に指南する。

街づくりを研究する大学で利用してもらおう。このほど北九州市立大学の地域創生学群のゼミが今年度の後期日程の教材に採用。徳島大や宮城大でも後期日程で活用する。日本大商学部も教材への採用を検討している。

官公庁などが発行する事例集の多くは「表面的な説明に終始し、失敗例も含め実態が伝わりにくかった」(AIAの木下斉代表理事)。メルマガは月額840円の課金制とし「現場の苦労話などを積極的に紹介する」。

メルマガを教材とする大学生や街づくりに関心を持つ大学生と商店街関係者らが交流できる施設「マチキチ」を全国各地に増やす。東京・品川と札幌に施設を構えているが、AIAに加盟する街づくり会社と連携して各都市に導入。関係者と交流・議論をしながら知識や理解を深めてもらう。

AIAは街づくり会社設立を検討する商店街関係者などを対象に合宿形式のセミナーなどを開いてきた。大学との連携やメルマガ発行で、地域活性化に関心を持つ大学生の理解を深め、欧米に比べ層が薄い街づくり分野の人材育成につなげる。

(平成24年10月5日付:日経MJより転載)(堀江)



どう見られている?我が商店街(194)

～二十歳で考える～

スピリッツネットワーク / エッセイ

新春、青森市では2,720人が成人式を迎えました。機会があって式に参列しましたが、あでやかにハレを着飾って臨む式典、その気持ちはどんなものなのでしょう。今となっては自身の過去を振り返っても、とうの昔の話、見当がつかみませんが、たぶん、いや、きっと、明日というものが、少し

変わったような、変わりつつあるような、そんな小さなチェンジが心の中に生れているのかも知れません。

先日、大学生と話していて、投票権の資格年齢の話になりました。高校を卒業し、大学に入学すると一般教養で政治学を学ぶのだそうですが、その年齢ではまだ投票権がありません。考えてみれば、高校の教科書にも政治のしくみなど掲載はされていますが、授業自体は淡泊にほとんど流すだけと言います。

投票という現実の政治参画がないままに、机上で社会を学び・考える。少子化の中、これから多くの負担を義務として担っていく世代として、これでいいのかという疑問が起こるのは自然なことかも知れません。

また、以前「絆の強いまちにするために、私たちができること」というテーマでのワークショップを行いました。大学生30名ほどが集まり、その時提案されたのが「地域の活動に積極的に参加する」「学生と地域と一緒にできるイベントをつくる」でした。「他者への関心を持つ(気づかい・心づかい)」もあり、「地域との結びつき」と「他者との交流」どちらも、地域コミュニティやまちづくりへの若い世代の積極的な志向として、頼もしく思ったものです。

様々なまちづくりの場で、若い世代が声をあげることが、自らのことも含めて他の世代への記憶と記録を残す意味でも重要です。今の日本の経済が伸び悩んでいる中で、労働市場が収縮していけば、新規参入者としての若者たちは企業社会から排除されか

ねません。社会の中で、新しいものを考える、計画する、構築するために、様々な検討の場、意見表明の場が設けられています。そういう場にどんどん参加をして、未来を生きる立場として自らの考え・意見を述べるべきです。

先延ばしされてきた問題、先送りしている課題にはきっちりと責任を持ってもらわなくてはならない。社会保障制度が機能するために、自分たちがどんな負担を強いられるのか、非正規雇用の未来はどうなるのか、人口減少はどのような社会を創り出すのか。例えば「どうやってなおすのかわからないものを壊しつづけるのは、もうやめてくれ」と言えるのが、これからの社会を担う世代です。

明日という日が常に希望であるために、今日をしっかりと考え生きる。二十歳の権利と責務は決して軽くないと思います。



こころ、あつたか、あおもり*冬感動プロジェクト
～食・遊・アートそして雪灯り～



期間:平成26年1月21日(月)～3月10日(日)
*<http://syokumeguri-omise.com>にアクセスしてね!

『味見あおもりワン・ツーコイン2013』開催

「味見あおもりワン・ツーコイン」として、今回はワンコインの500円のほかに、ツーコインの1,000円のメニューも登場しました。ワンコインだけでは難しかった、ちょっと奮発すればゴージャスなメニューもあり、バリエーションが増え一層の魅力アップになったのではないのでしょうか。

主催は青森商工会議所が担っており、青森街なか「食」巡り事業として、今回で3回目の開催です。冊子の発行やツイッターなど口コミによる情報伝達も加え、ホームページにおいても各店のメニューが確認できます。中心商店街の飲食店・喫茶店などにおいて大変お得な料金設定で楽しんでもらうもので、青森ならではの食のアピール、個店の販促と中心商店街の賑わい創出につながるものです。今回も、新町商店街・昭和通り商店街・夜店通り商店街・柳町商店街・いろは通り商店街・ニコニコ通り商店街からの推薦のほか、周辺地域からもワン・ツーコイン合計で44店舗が参加しました。

開催期間は1月21日(月)から3月10日(日)までとなっており、同時開催で「スタンプラリー」も行われます。3店舗のスタンプで応募してもらい、抽選で参加各店のお食事券などステキな景品がプレゼントされます。詳細は冊子やホームページなどでご確認ください。

期間中、中心市街地では「あおもり雪灯りまつり」(1/25～27)、「青森冬まつり」(2/2～11)、「街なかイルミネーション」(~2/28)、「パサージュバル」(2/1～2)、「鍋横綱コンテスト」(2/3)と盛りだくさんのイベントがあります。楽しく中心街を堪能してみてください。 (堀江)



あおもり雪灯りまつり・あおもり冬まつり

●あおもり雪灯りまつり

一昨年から青森市観光課が主催しているもので、今回も青森駅前公園、ワ・ラッセ西の広場、パサージュ広場、新町通りにて1月25日(金)～27日(日)に開催されます。街なかで冬の夜を愉しむことをコンセプトに、特に新町通りでは青森大学学生の協力によりWISHキャンドルが設置されます。



●あおもり冬まつり

これまで合浦公園で開催していたものが、街なかでの開催になります。会期は2月2日(土)～11日(月・祝)となり、八甲田丸前には大型すべり台が登場するほか、青い海公園、ワ・ラッセ、パサージュ広場、駅前公園、街なかなど、広範囲での展開となります。街なかでの賑わい創出で、あおもりを元気にしましょう。

【新規加入店】ご紹介

イマジン(株) わいん倶楽部

代表取締役：野崎嵩(加入：平成24年11月7日)

今までは青森プラザホテルと2店舗展開しておりましたが、わいん倶楽部のみでの展開となり、改めて新規加入となりました。

所在地：青森市新町2-2-1協働社ビル2F(電話721-4422)

(株)赤とんぼ

代表取締役：夏目俊紀(加入：平成24年11月20日)

夜店通りから移転オープンしたもので、子供服や雑貨を中心にした物販店です。上新町、旧モリタカバン跡地にオープン

所在地：青森市新町2-5-5(電話722-8030)

荒井明久 氏(加入：平成24年11月21日)

旧味ビル跡地にコインパーキングを開設しました。

所在地：青森市新町1-11-19

富士共栄(株)(富士メガネ)

代表取締役：金井昭雄(加入：平成24年11月22日)

市内にはさくら野百貨店に出店しており、まずは旧モナコパチンコ跡地を確保したもので、当面は現状通り月極め駐車場として運営。

所在地：青森市新町1-9-12



雪害事故を防止しよう

昨冬、県内における雪害事故は、大雪の影響により、発生件数496件、死者21人、負傷者273人でした。

今年も降雪とともに雪害事故が増加しており、今後も更に増加することも懸念されます。

事故を防止するため、次のことに注意しましょう。

- 除雪作業は、できるだけ複数で行い、周囲に注意する。
- 屋根に上るときは、命綱を付ける。
- ハシゴの上り下りのときは、ハシゴを支えてもらう。
- 軒下から軒先の雪を落とすときは、ヘルメットなどで頭部を守る。
- 暖気のときは、屋根雪の落下に注意する。
- 除雪機が不良のときは、エンジンを停止してから点検を行う。
(担当：富士)

